

見立てる

野口廣

学習に用いる言葉

ようし

要旨・・・筆者が文章で取り上げている内容の中心となる事がら。

こうせい

構成・・・話や文章の全体がどのようなまとまりで組み立てられているかということ。

事例・・・ある物事や考えを説明するために例として挙げられる具体的な事実のこと。

○教科書を読み、取り組みましょう。

1 「見立てる」とはどういう行為ですか。第①段落から書きましょう。

・あるものを（ 別のものとしてみる ）こと。

2 (1) 第②段落に、「あや取りを例に」とある。何の例として、「あや取り」を取り上げているの

でしよう。

（ 「見立てる」 ）ということの例。

(2) 「あや取り」の同じ形に対してつけられる名前が、ちいきによってちがうことがあるのは

なぜでしよう。

その土地の自然や人々の生活のしかたなどによって、結
びつけられるものがことなるから。

(3) 第④段落、第⑤段落は、何の例でしよう。

・第④段落 （ 日本 ） 各地の名前の例。

・第⑤段落 （ 世界 ） 各地の名前の例。

(1)

筆者の考えがしめされているのは、どの二つの段落でしょう。

(①) と (⑥) ()

(2)

第⑥段落で述べられている筆者の考えを、一文にまとめてみましょう。

〔 (例)見立てるという行為を支える想像力は、わたしたちを育んでくれた自然や生活と深く関わっている。 〕

☆

筆者のくふう①

分かりやすく伝えられるように、具体例をあげている。

☆

筆者のくふう②

大事な言葉は、くり返し使う。

「見立てる」でくり返し使われている言葉

- ・見立てる
- ・想像力